

## 令和6年度 生活介護 ローズマリー事業報告

### I 重点目標

- 1 利用者1人1人に適した支援を行う。相談員及び家族と話しながらサービス内容の見直しも行う
- 2 活動の充実
- 3 感染対策の見直し

#### [取組内容]

高齢化や支援区分の重度化が顕著にみられている。障害特性にも配慮し、現状の支援を見直す。日々の変化が見られた場合はすぐに管理者に報告し、職員全員で情報共有し、最善の支援方法を検討する。

活動内容に関しては、職員全体で活動内容を計画し、マンネリ化しないよう工夫する。課外活動を取り入れていく。

感染対策に関しては、車中・園内での感染対策マニュアルを見直し、対策を徹底する。

#### [結果]

高齢化や重度化が進んでいく中、日々の変化に気づき、その時点で一番適している支援が行えるように話し合い即対応できるように心がけた。担当者会議やモニタリングを通して、気になることを保護者へ伝え、他事業所とも連携できるようにした。他事業所での様子なども知ることができ職員間で情報共有した。また、日々の充実のためサービスの見直しや支援について提案していった。なかなかサービスの変更や支援について進まないこともあるが、少しずつ変わっている利用者もいる。他事業所での感染症時、受け入れをし入浴なども行った。室内活動に大きな変化はなかったが、課外活動を取り入れることもできた。

感染対策はマニュアルの見直し、感染対策を継続することで感染症は発生しなかった。

### II 実績

登録人数 32名（令和7年3月31日現在）

	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
男性	-	2名	2名	5名	10名
女性	-	1名	3名	5名	5名

#### 週間通園状況

	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
月曜日	-	1名	2名	11名	9名
火曜日	-	1名	2名	9名	11名

水曜日	-	1名	1名	9名	12名
木曜日	-	0名	3名	9名	10名
金曜日	-	0名	2名	10名	11名

平均利用者数 12.3人 (12.3人)

※サービス提供時間が5時間以上7時間未満の利用者は、1日0.75人として計算する為)

平均支援区分 5.42 (5.36)

区分5, 6の割合 89.61% (86.51%)

( )内は前年度実績

◎報酬額

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ローズマリー	4,332,280	4,782,370	4,784,880	4,615,900	5,025,750	4,156,560

ローズマリー人数 340名 376名 371名 361名 392名 323名

開所日数 21日 22日 22日 21日 23日 21日

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ローズマリー	4,604,530	4,644,890	4,254,980	4,615,410	4,013,680	4,355,150

ローズマリー人数 374名 379名 336名 370名 317名 350名

開所日数 22日 23日 20日 23日 20日 21日

令和5年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ローズマリー	4,566,070	4,398,910	4,079,770	4,159,800	4,372,410	4,482,270

ローズマリー人数 356名 343名 338名 310名 336名 341名

開所日数 22日 22日 20日 20日 21日 21日

令和6年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ローズマリー	4,843,200	4,474,760	3,972,070	3,886,160	3,857,360	4,227,520

ローズマリー人数 390名 357名 332名 298名 314名 340名

開所日数 23日 21日 20日 20日 20日 21日

令和5年度 合計 53,756,970円 月平均 4,479,748円

令和6年度 合計 51,749,710円 月平均 4,312,476円

・12月から3月まで1名(区分6)が家庭の事情により短期入所利用となる

・3月より新規利用者1名(区分3 週3日利用)

III サービス内容

- ・入浴支援
- ・排泄支援
- ・オムツ交換
- ・食事支援

日々の状態で食事介助が必要な時や、食事形態を変更する必要があるので、臨機応変に対応した

- ・健康管理

看護師を中心に日々のバイタルチェックや少しの変化に気づき、家庭との連絡や、嘱託医との連携を図った

- ・口腔ケア

- ・感染症対策

- ・軽作業(希望者) 室内作業2名 パン作業1名

・施設内活動(創作活動・カラオケ・ボッチャ・ボウリング・風船バレー・リズムダンス・散歩・調理実習・誕生日会・ドライブ・室内野球・ボール遊び・自由活動など)

- ・防災対策(避難訓練の実施・火災や地震を想定)

- ・機能回復訓練(理学療法士による訓練・言語聴覚士による訓練)

理学療法士による機能訓練を行う利用者が増加した。歩行訓練など筋力維持に取り組んだ。言語聴覚士から、利用者の状態を見てもらい、食事の姿勢や嚥下の状況などアドバイスをもらった。また、嚥下機能維持のため口腔体操を実施している。

- ・支援学校の実習生の受け入れ